

「緑の健都 かめやま」を目指して

令和3年、市民の皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は市政の進展に深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。とりわけ、未曾有の世界的パンデミックとなった「新型コロナウイルス感染症」では、皆様方の感染拡大防止への不断のご努力に対し、厚く御礼申し上げます。

さて、去年は新市施行から15年目を迎える一方、本市に縁のある日本書紀編さん1300年、また鉄道敷設・亀山駅開業130年という大きな節目の年でありました。その記念すべき年に、かねてより発掘調査を重ねてきた「鈴鹿関跡」が、国史跡として指定するよう、国の文化審議会の答申をいただいたことを大変嬉しく思います。新史跡として指定されれば、野村一里塚・正法寺山荘跡に続く市内3つ目の国史跡となります。また、「亀山市総合計画/グリーンプラン2025」の重点プロジェクトの一つである新図書館を核とするJR亀山駅周辺地区の再開発が、新しいステージへ進むなど、誠に感慨深い一年でありました。

今日、人口減少・超高齢社会が進展するなか、誰もが住み慣れた地域で健やかに暮らしたいと願っています。近年の複雑化・複合化した課題を抱える世帯や個人に対し、亀山版のオーダーメイドの支援体制の構築など「安心の共生社会」づくりを急がなければなりません。

また、先の新名神高速道路・亀山西JCTの開通をはじめ将来のリニア構想・鈴鹿亀山道路など本市のポテンシャルが高まるこの好機を逃すことなく、多様な産業構造・雇用の創出をはじめとする「次なる活力と未来の飛躍」をめざし、積極果敢に挑戦してまいります。

清々しい新年を迎え、希望と信頼の「開かれた市政」を基本理念に、本市の将来都市像『緑の健都 かめやま』の具現化、並びに新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を着実に進めてまいりますので、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年が市民の皆様方におかれまして、ご健勝で幸多き年であることを心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

令和3年新春 亀山市長

